

事業名称	子育て世代とともにつくるミュージアム活用プロジェクト		
実行委員会	地域を創生するミュージアム活用実行委員会		
中核館	南相馬市博物館		
	住所	〒975-0051 福島県南相馬市原町区牛来字出口194	
	TEL	0244-23-6421	FAX 0244-24-6933
	ホームページ	https://www.city.minamisoma.lg.jp/portal/culture/museum/index.html	
構成団体	南相馬市博物館・ひとはく連携グループ run♪run♪plaza・さゆり幼稚園・兵庫県立人と自然の博物館・京都国立博物館・NPO法人南相馬こどものつばさ		
事業開始時点の課題分析	令和2年度に体験プログラムのモデル事業を1か所の幼稚園で実施し、市内の幼稚園・子ども園へのアンケート調査により、多くのニーズを把握することができた。令和3年度は、要望に沿うべく事業を実施し、博物館が知育の宝庫であることを知っていただくチャンスとらえている。そのことを保護者が知り、博物館の役割に気が付くことができるような取り組みが必要である。博物館の役割が充実することにより知育も充実することへ理解が進み、保護者自らが事業の活動に関わることができるような仕組み作りをすることで、地域の持続可能な教育環境を作り出すことができるものとする。		
事業目的	これまで把握してきたニーズや実践してきた経験やノウハウを基に、さらに地域博物館の社会的役割を認識することが必要である。地方博物館が地域の社会的役割を認識し、持続可能な教育環境の創出や充実のための仕組みづくりに取り組むことが事業の目的。		
事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 市内幼稚園・子ども園への「おでかけみゅーじあむ」の実施 モデル事業から、市内各園へ事業を展開。 幼児・児童が参加する「キッズミュージアム」の開催 子どもと保護者がふれ合いながらプログラムを体験。 子育て世代が参画する「子育てミュージアム講座」の開催 子育て中の保護者を対象に、子育て経験のあるミュージアム学芸員による講座開催。 		
実施項目 ・ 実施体系	<ol style="list-style-type: none"> 幼児教育・学校教育と連携した地域分館担い手育成事業 <ol style="list-style-type: none"> 「おでかけみゅーじあむ」の実施 「キッズミュージアム」の開催 子育て世代との協働事業 <ol style="list-style-type: none"> 「子育てミュージアム講座」の開催 博物館の利用促進を図るパンフレット等の作成 		
実施後の成果・効果等	<ol style="list-style-type: none"> 「おでかけみゅーじあむ」の実施 6園に対し14回実施した。幼児のなかには「博物館の人になりたい」といった声や「子どもが物をよく観察するようになった」とか幼稚園での博物館の取組みが家族の話題になっているなどの保護者の話があった。 「キッズミュージアム」の開催 コロナ禍で縮小を余儀なくされたが、自館で2回開催。各回70人以上が参加し、事業として市民に定着しつつあることを実感した。 「子育てミュージアム講座」の開催 講師とオンラインで結び、2組の親子の参加を得た。今回は協働についての意見交換までは進めなかった。 パンフレット等の作成 パンプ4,000部、ペーパークラフト200枚を作製した。 以上、コロナ禍であったが、博物館の利用により地域社会における継続的な学習機会の拡大に結びつく効果がうかがえる端緒は確認できたものとする。 		

【事業実績】

(1) 市内幼稚園・こども園への訪問事業「おでかけみゅーじあむ」の実施

●幼稚園等6園からの要望に応じ、出向いてワークショップを実施(延べ14回)。

訪問先・実施日・ワークショップ

- ・さゆり幼稚園 5月19日 シャボン玉、10月22日 浮くタネ
- ・大甕幼稚園 6月8日 浮くタネ、11月2日 葉っぱコネクト
- ・みなみそうまペンギン国際幼稚園 6月10日 浮くタネ・飛ぶタネ、10月8日 シャボン玉
- ・おだか認定こども園 6月11日 浮くタネ・飛ぶタネ、11月9日 大蛇伝説紙芝居・昔のあそび
- ・原町聖愛こども園 6月18日 飛ぶタネ・葉っぱコネクト、9月2日 浮くタネ・葉っぱコネクト
- 11月5日 東ヶ丘公園散策・ビンゴ、3月15日 木を観察しよう、削ろう・ペンダント作り
- ・北町保育所 8月12日 浮くタネ・飛ぶタネ、10月20日 散歩・植物図鑑を作ろう+

子どもの声 ・ 博物館の人になりたい。

保護者の声 ・ 子どもが物をよく観察するようになった。

・ 幼稚園での博物館の取組みを家族の話題にしている。



(2) キッズミュージアムの開催

●第1回 2021年11月14日 参加者 子ども43人、保護者33人

・プログラム 野馬追のミニ旗づくり、木のかけらペンダント、プラバンキーホルダーづくり

子どもの声 ・ 色を塗ったり、木を削ったり、旗を作ったり、いろいろな体験ができて楽しかった。

・ 博物館には野馬追や昔のことが書いてあったので分かりやすかった。次が楽しみ。

保護者の声 ・ プログラムが子どもの年齢に合っていたのでよかった。

はくぶつかんからライブのおしらせ

キッズミュージアム

2021.11.14 @ 11:00-15:00

(対象) 子どもとその保護者 お申込み不要・無料

野馬追のミニ旗づくり

紙にマシクで自然の形をなぞを画いて、オリジナルの野馬追の旗をつくらう。
※無くなり次第終了となります。

木のかけらペンダント

両手で握りしめる木(クロセリ、カヤ)を削ってペンダントを作らう。ざらざら、つるつるなど、ヤサリで作りながら、ざらざらも楽しめる。

プラバンキーホルダー

色紙やマシクをまわって、アンモナイトキーホルダーをつくらう。
※1人につき、1種2個まで、無くなり次第終了となります。

みなみそうまはくぶつかん
南相馬市博物館 TEL 0244-23-6421

※感染症予防のためマスク着用にご協力ください。
※プログラムの変更や新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、人数制限や中止となる場合があります。



●第2回 2021年12月19日 参加者 子ども41人、保護者32人

- ・プログラム クリスマスリースづくり、野馬追のミニ旗づくり、折り紙で馬とカブトをつくろう
- 子どもの声 ・リースにいろいろな木の実をつけられてよかった。
- 保護者の声 ・家族で楽しく過ごすことができた。
- ・子どもたちが自分で作る姿を見ることができてよかった。



(3)「子育てミュージアム講座」の開催(2022年3月19日)

●子育て中の保護者を対象に、子育て経験のあるミュージアム学芸員によるオンライン講座の開催

参加館 南相馬市博物館（ホスト） 京都国立博物館（講師） 国立民族学博物館
 兵庫県立人と自然の博物館 こども☆ひかりプロジェクト

参加者 親子2組 7人

- 講座の内容
- ・子育て中における博物館を楽しみながら利用する方法についてのお話しと意見交換。
 - ・講座中、子どもは学芸員との体験学習や図書館司書の読み聞かせて時間を過ごす。

- 参加者の声
- ・博物館は気軽に楽しめる場所だと知ることができた。
 - ・機会を見て博物館に足を運びたい。



5組限定 子育てのヒントがたくさん! 参加無料

子育てミュージアム

2022年3月19日(土)

日時	スケジュール
14:45-15:30 1部	14:45-15:30 1部
15:45-16:30 2部	15:45-16:30 2部
16:45-17:30 3部	16:45-17:30 3部

会場 南相馬市博物館

休校学習室、エントランスホール、常設展示室

15:30-16:45 休憩

15:45 休校学習室(入退室自由) 16:00 親子学習

内容

京都市博物館教育室の森正幸さん、西宮市立博物館の小川万福さん、兵庫県立人と自然の博物館（こども館学芸員）の志保さんら3名が講師に、保護者の体験学習で200冊を貸し出す。お話しとお歌でリラックスしながら、博物館を学ぶというお話を聞いたり、自分たちがある博物館の展示を学ぶというお話しを聞いたりしながら、質問に答えてくれた質問にお答えします。子育て中の皆さんのリアルな声を聞きながら、日々の暮らしで感じていることをお話ししていただきます。

お子さんは体験学習で「トークタイム」に参加し、学芸員と「お話しを聞かせて」をやっていただきます。また、南相馬市立図書館にご協力もいただき、カニに関する本の読み聞かせも行います。

子どもが1人で決まることが無い場合は、保護者と一緒に参加していただいても構いません。途中参加、途中退席もOKです。お交際にお品もください。

イベントの予約フォーム 申し込みは下記URLからとなります。予約7日前まで。

地域を創生するミュージアム活用実行委員会 (事務局 南相馬市博物館) TEL:0244-23-6421

(4)パンフレット等の作製

●子どもや子育て世代の博物館利用のためのパンフレット等の作製

- ・博物館パンフレット 4000部
- ・国登録有形文化財「朝日座」のペーパークラフト 200枚

